

第3章 景観づくりの基本目標と基本方針

1. 景観づくりのテーマ

平塚らしい景観づくりを進めていくためには、長期的な視点から景観づくりの方向性を見据えていく必要があることから、景観づくりの基本となるテーマは、これまでの平塚市都市景観基本計画のテーマを継承します。

<メインテーマ>

『湘南ひらつかの海と緑と歴史を活かす美しいまちなみづくり』

<サブテーマ>

～景観要素を支える豊かな人間性と地域文化の育成～

2. 基本目標

景観づくりのテーマのもと、景観づくりの目標や重視すべき考え方として、長期的な視点から景観計画の基本目標を設定します。

平塚市の景観特性は、5つの系統（自然系、眺望系、歴史系、都市系、生活系）に基づく景観類型により特徴付けられます。

そこで、平塚市景観計画では、以下のように各系に対応した5つの基本目標を設定します。

□景観計画の基本目標

<自然系の基本目標>

海、山、川など恵まれた自然景観の保全と創出

<眺望系の基本目標>

市内外への多様な眺望の保全と活用

<歴史系の基本目標>

多様な歴史景観の保全と活用

<都市系の基本目標>

うるおいある美しいまちなみの形成

<生活系の基本目標>

暮らしを彩る快適な生活環境の形成

3. 景観づくりの基本方針

景観づくりのテーマと基本目標に基づき、景観類型ごとに景観づくりの基本方針を設定します。

□景観づくりの基本方針

| 基本目標 | 景観づくりの基本方針 | |
|---|--------------|--|
| | 景観類型 | 基本方針 |
| <自然系> 海、山、川など 恵まれた自然景観の 保全と創出 | 丘陵地景観 | ○地形の特徴を際立たせる斜面林の緑が連続した丘陵地景観を保全します。 ○里山と谷戸田が一体となった四季の彩りある丘陵地景観を保全します。 |
| | 田園景観 | ○丘陵地の斜面林や周辺の山並みと一体となって、四季折々の豊かな表情を持つのびやかな田園景観を保全します。 |
| | 河川景観 | ○河川本来の個性を活かし、遠景の山並みや沿川の植栽・まちなみなどと調和した河川景観を創出します。 |
| | 海岸景観 | ○海や空を感じることでできる開放感ある海岸景観を保全・創出します。 |
| <眺望系> 市内外への 多様な眺望の 保全と活用 | 山々への眺望景観 | ○高麗山や富士山、大山や丹沢連峰など、市内外の山々への多彩な眺望を保全します。 |
| | 湘南平からの眺望景観 | ○季節や時間の経過に応じて、豊かに表情の移ろう湘南平からの眺望を保全します。 |
| <歴史系> 多様な歴史景観の 保全と活用 | 平塚市を代表する歴史景観 | ○都市の記憶を紡ぎ、平塚市の成り立ちを伝える風格ある歴史景観を保全します。 |
| | 身近な歴史景観 | ○地域の個性を特徴付ける身近な歴史景観を保全します。 |
| <都市系> うるおいある美しい まちなみの形成 | 住宅地景観 | ○地域の特性に応じた落ち着きと潤いのあるまちなみ景観を保全・育成します。 |
| | 工業地景観 | ○市民に親しみやすい潤いある工業地景観を創出します。 |
| | 商業地景観 | ○地域の個性を活かした賑わいと潤いのある商業地景観を創出・育成します。 |
| | 公共施設景観 | ○大規模な公共施設においては、平塚市の顔として風格あるシンボル性の高い公共施設景観を創出します。 ○地域の拠点となる公共施設においては、地域の顔として親しまれる公共施設景観を創出します。 |
| | 道路景観 | ○沿道の地域特性と調和した個性ある道路景観を創出します。 |
| <生活系> 暮らしを彩る快適な 生活環境の形成 | 暮らしの景観 | ○地域住民の日常的な取り組みが支え、日々の暮らしの中で創っていく、暮らしの景観づくりを進めます。 ○祭事やイベントなど、地域に暮らす人々の活動が創出する、季節感のある豊かな表情を持った暮らしの景観づくりを進めます。 |
| | ゆとりの景観 | ○周辺と調和し、周辺の魅力を高める広告物や公共サイン、パブリックアートなどの景観要素が創出する、ゆとりの景観づくりを進めます。 |